

1 次式とその項

文字を使った式は、いくつかの項からできている。

$2x - 3$ の式では、

文字をふくむ部分の $2x$ と、

数の部分の -3 で表されている。

このとき、 $2x$ 、 -3 のそれぞれを項という。

ここで、 $2x$ のように 1 つの文字をふくむ項を、1 次の項という。

1 次の項の文字にかけられる数を係数といい、 $2x$ の係数は 2 となる。

1 次の項だけの式や、1 次の項と数の項で表される式を 1 次式という。

1 次式とその項や係数

1 次式の $2x - 3$ は、 $2x$ と -3 の 2 つの項で表されている。

1 次の項は $2x$ で、この項の係数は 2 になる。

1 次式の例： $3x + 5$ 、 $-a$

1 次式の項をまとめる

1 次式と同じ文字の項や数の項は、それぞれまとめて計算することができる。

$$\begin{aligned} 1 \quad & 2x + 3x \\ & = (2 + 3)x \\ & = 5x \end{aligned}$$

$2x$ と、 $3x$ のような文字の部分が同じ項を
同類項という。

$$\begin{aligned} 2 \quad & 3x + 2 - 4x + 5 \\ & = 3x - 4x + 2 + 5 \\ & = -x + 7 \end{aligned}$$

順番を変えて、1 次の項と、数の項をまとめる